

大阪基礎クラス受講生からの質問

【受講生からのメール】

雀啄、ほんとに雀啄ですね。

いろいろ欲張ってあの処置この処置・・・は やめてシンプルに 扁桃・瘀血・肝実重点を置いて緩むまで雀啄しました。

いつもの倍、長い時間雀啄やってんの何で取れないの？から

緩むまで雀啄したらいいんだ！に頭を切り替え、緩むまで雀啄。そしたらちゃんと緩みました。

あせって次にはあの処置やりたいのに・とそればかり考えていたことに気が付きました。

もともとここまで頑固な瘀血や扁桃をもっている人。一筋縄では取れないのは当たり前。取りきることは私じゃムリ。だったら緩むのを目標に。

日に日に雀啄の時間が短くなることを目標に切り替える。ちょっとだけ気が楽になりました。そして緩むのを目標に雀啄した日は当然効きが違う。その他の処置も生きてくる。結果がちゃんと付いてきました。

頭では「雀啄が大事」「そんなこと分かっている」と思っていたつもりでも、実際には全く分かっていなかったようです。

【受講生からの質問】

【質問 01】『肝実処置ですが、左会陽から上仙へむけての刺鍼は何センチぐらいの刺入を目安にしたらいでしょうか？』

【返答 01】 寸6か、2寸で、4~5cm くらいを目安です、痛くなりやすいので、十分に気をつけて刺鍼してください。

【質問 02】『腹部お血で脈状に関し、腎虚は沈遅、血虚は細とのことですが、腹部お血で中注、大巨の圧痛があれば、左手の沈の尺中の位置で診て、腎虚と判断するということが、いきなり、脈診だけで腎虚と判断するということではないのでしょうか？』

【返答 02】 確かに腎虚になります。脈だけとか、お腹だけという診方では、正確な診断が出来かねますので、基本の診断をしっかりとやって、処置を組み立てていくのが大事です。

診断をして、結果的に「腎虚」だと思ったら、「やっぱりな！」ってな感じで、確認できていいと思いますよ。結構簡単な診断だけで、処置をして、効果が薄いことが、結構多いです。しっかりと診断しましょう。

【質問 03】『長野先生の本を参考にさせていただいて施術しておりますが、・・・筋緊張緩和措置と労宮、少海、尺沢、復留、大杼、肝実処置をおこなっております。しかし夜間痛を訴えるかたの改善は効果がでたとおもっても翌晩またやめつづけて、どうしたらいいのか、頭をかかえています。』

【返答 03】 この場合も「基本処置」「筋緊張緩和処置」や「帯脈」（じっくり時間をかけて丁寧）に5分くらいは必要かも。夜間痛は、基本処置の「扁桃処置」の「お灸」が必要な場合が多いですよ。

【質問 04】『ただ、基本処置がたいへん重要ということですが、脈診、腹診では、まだまったく未熟な初心者でありますので、診断にいつも迷いを生じております。とりあえず問診を重視して扁桃処置や肝実処置、お血処置に重点をおいていますが、効果が薄いと感ずるときは、診断が違っていると考え、さらに別の基本処置を追加していかまわないでしょうか？』

【返答 04】効果が出ていないというよりも、確認できていないんだと思います。
「天牖、右天枢」等の圧痛で、扁桃処置を決めますが、治療後（+）→（-）の確認をしてください。「中注、大巨」（+）の瘀血も、「左天枢」（+）の肝実も同じです。反応が変わってきたら効いてきているとみなして結構です。
変わっていなければ、処置をもっと丁寧にする。

【質問 05】『夏場は患者さんが灸を避けたがる傾向にあります。この場合灸療法は糸状灸とか、火力を落としたりされて活用されておられるのでしょうか。』

【返答 05】僕の場合は、夏も冬もありません、ただし、患者によっては、嫌がる方もみえますので、あまり強制はしていません。でも、効果を考えて、どうしても必要な場合は、がんばってすえてもらいます。

また、弱いお灸でもいいですよ（千年灸等）どうしてもだめなら、お灸無しでもかまいません。

モグサは、湿っていると熱いです、硬くなってしまうから。（半米大を4~5個捻るくらいの量をつまみ、軽くひねる）

そして、底辺が広いと熱いです。（捻る前に少し艾の繊維を引っぱって、伸ばしてからひねる）とにかく練習練習です、軟らかくひねる練習をしてみてください。

【質問 06】『変形性膝関節症では、人工関節寸前の人でなくても、80歳ぐらいの高齢者や肥満度の強い人では、一時的に楽になっても、また痛くなってしまいます。失礼ですが先生の患者さんで重度の症例では、基本処置をふまえたうえでの対応をされた場合、最終的にほとんど無痛の状態までもっていかられることが多いのでしょうか？』

【返答 06】重度になっているものは完治は無理ですよ、何でもなおせることは無いです。
症状の改善と日常生活を少しでも楽に送れることが大事なのではないでしょうか。

【質問 07】『アキレス腱炎では、運動等で痛くなった場合でも、扁桃処置は有効でしょうか？』

【返答 07】はい、必要ですよ、運動によって炎症を起こした場合の方が多と思います。
炎症を起こしやすい状態、つまり扁桃の弱体化が、バックグラウンドにあると思います。

この患者さんは、「魚際」「天牖」「右天枢」等の反応があると思いますので、しっかり診てみてください。

【質問 08】『蠡溝の21壮の灸で、2から3壮まではともかく、そこまで我慢できないという人もいますが効果をだすためには、ともかく無理やりでもやったほうが良いでしょうか？』

【返答 08】始めは1壮からでもいいですよ。
嫌な人は嫌です、体が拒否してしまうので、無理は禁物です。

【質問 09】『早速、教えていただいた、内陰を使っていますが、たいへんよく効果がでています。寝違いにも、用いてよろしいでしょうか。五十肩にも効果があるでしょうか？』

【返答 09】あるとはいえませんが、僧帽筋の緊張を取る処置の一環ですから、緊張があれば効くと思いますよ。

【質問 10】『脈状が、いろいろ基本処置を施しても変わらないと感じたときは、追加処置をこうじたほうがいいでしょうか。それとも、あえて、過剰刺激を避け次回にしたほうがいいでしょうか？』

【返答 10】次々と手を変え品を変え処置をやればそのうち効くだろうと思うことは、処置法の虫干し状態です。基本処置がしっかり出来ていない場合は変わりません。また、変わりにくい時もあります、あまり深追いしないように。

【質問 11】『狭窄性腱鞘炎(ばね指)では、帯脈と指関節への灸でどのくらいで改善すると考えたらいいでしょうか？』

【返答 11】基本は扁桃処置です、あと他の診断に基づいて各処置の後、帯脈をじっくりと症状緩和まで雀啄です。
治療期間は、自宅での扁桃の施灸等が大事ですが、1～3ヶ月位はかかると思いますよ。

【質問 12】『前回の質問で、8ヶ月の子供のアトピー治療は？』

【返答 12】長野先生の返答

8ヶ月だと先天性のものがあると思いますので、治療は難しいですが、免疫系を強化する為に、「支溝、命門、身柱、大椎、肩髃、築瀆」より適宜選択し小児鍼、ローラー鍼を代謝が激しいので、弱い刺激で短時間、強刺激は禁物。
あと他に、湿度を持たせるようにスキンケアも大切です。

【質問 13】『ギックリ腰というか、急性の筋筋膜症の患者がよくみえるのですが、この場合の特効穴とかはないのでしょうか？』

【返答 13】長野式は特効穴的なものは特にありません。

筋肉の緊張を取る意味で、「帯脈」や「筋緊張緩和処置」などありますが、何病の特効穴としての考え方よりも基本処置を重視して、最後に「脊柱起立筋緩和処置」や「帯脈」をじっくりやった方がいいでしょう。
体の声を聞いてくださいね。

【質問 14】『生理痛がひどい患者さんで、生理前に治療しないといけないというのはわかるのですが、生理中に少しでも痛みを抑えてほしいと訴える患者さんに対してはどんな治療法がありますか？』

【返答 14】基本的に脾経、肝経の気水穴と蠡溝のじっくり雀啄。

脾経は子宮粘膜に、肝経は子宮に、蠡溝は下腹部のツボ、他に至陰の刺鍼も効きますよ。

基本処置（扁桃、瘀血等）はあたりまえであります。

特に蠡溝は痛み弱まるまで十分に雀啄（5分位もあるかも）

【質問 15】『患者さんの理解がえられず、基本処置ができずに対象療法になってしまうことが多々あります。これをどうやって、こちらのペースで治療するには？』

【返答 15】だんだんコツを覚えていけば、自然と自分のペースで治療できるようになりますよ。自信を持って治療しましょう、不安を感じながらの治療は、患者も不安です。慌てず、一つ一つ覚えていきましょう。

僕の場合も何十回もセミナーに通って、自分のものにしていきました。

「百聞は一見にしかず」何回も何回も、目で見て、じかに聞いて、直接触れて、体で覚えましょう。

【質問 16】『全身の処置で、天ゆうを使うと、鳥肌がたって気持ち悪いという人がいるのですが、無理にでも使ったほうがよろしいでしょうか？』

【返答 16】無理に使ってはダメです、代わりに手三里を十分に雀啄してあげてください。患者さんに気持ちいい鍼を打ちましょう、鍼を打ってる自分も気持ち良いです。

【質問 17】『同じ症状を持たれていても回復にはそれぞれ日数の差があるように思います。特に高齢の方は治療期間を若い人に比べてかなり要すると感じます。年齢ばかりでなく、体質や体力などによっても治癒するペースが異なるように思います。そういう回復力の差も治療によってうめられるものなののでしょうか？』

【返答 17】回復力の差は、確かに違います。ただ、気をつけなくてはいけないのが、皆さん同じなのですが、「同じ症状」ここに重点を置いていること、ここから考え方を治さないと、治るものも治りません。

ガス漏れ警報機のコンセントを抜いてはダメです、色んなコンセントがありますが、警告音は似ています、どこで漏れているか、じっくり考えましょう。

これが診断法です。診断を丁寧にしていくと、だんだん見えてきます。

そして、診断にもとづく処置法、ガス漏れの一番重要なところを、丁寧に、じっくりと。少しずつ覚えていきましょう、いっぺんには無理です。

今日より明日、明日よりあさって、自分を伸ばす目的意識を持ってくださいね。

【質問 18】『28歳の女性でバセドー氏病の手術後、逆に甲状腺機能低下症の症状が出てきました。術後二年ほど経過しておりますが、手術痕は暗赤色で盛り上がり、中注の反応も(2+)でオ血の強さを物語っております。患者さんは、鍼の刺激にかなり敏感というより苦手で(大の注射嫌い)、半年ほどは、あん摩治療のみでしたが、この時期治療効果が長持ちせず二日に一度ほど治療に見えるので、鍼治療をおすすめし本人もよほど辛いのかやってみるとのことで鍼治療をスタートしました。通常なら手術痕の上下左右に皮内鍼をしたいところですが、場所的にも怖がられるといけなないのでマグレイン(チタン)で代用するわけにはいかないのでしょうか？ また、お灸はだめでしょうか？』

【返答 18】鍼が嫌いという人は刺激に敏感です、そして弱い刺激で充分です。この患者さんの基本は「瘀血処置」だと考えられます、接触鍼でじっくり時間をかけてやってみてください、結構効きますよ。そして、手術痕の際に、接触鍼でじっくり雀啄。お灸は出来そうなら「瘀血処置」の「中封、尺沢」。
マグレインの効能はよくわかりませんが、「パイオネックスの0.6ミリ」はどうでしょうか？

【質問 19】『接触鍼の場合は、留鍼は必要ないのでしょうか？少々深さがないとぽろりと落ちてしまいますのですが…。』

【返答 19】接触鍼の場合、留鍼の必要はありません、雀啄重視です。留鍼を他の皆さんもやりたいようですが、雀啄で効きます、丁寧にじっくりとやってくださいね。

※別の患者さんですが、口がすぐ渴くという方(高齢者)に「瘰癧門」も鍼を試してみました。切皮してすぐ口の中が潤って来ました。あまりの効果の速さにびっくりし

ました！

【質問 20】『腰椎すべり症で、半年以上施術しているのですが、一時的には改善しましたが、施術しても半日は効いているのですが、また下肢のしびれがひどくなっております。このばあい、整形では、必ず痛み止めと腰椎の牽引のパターンばかりだったと言っておりますが、そういったことの併用も必要でしょうか？』

【返答 20】 迂り症は、ぺこんと凹んだ所のお灸が重要です。根気よく自宅でもやってもらってください。

あと、「陽輔・外関」「丘墟・上四瀆」反応を診てじっくり雀啄。丁寧に丁寧に、大事な人に雀啄するようにやってください。

基本処置も大事ですよ、中でも扁桃処置、瘀血処置が重要です。

整形の治療との併用は、出来ることなら避けたほうがいいでしょう。

整形は、症状重視ですから、改善が無いと、強い刺激、注射、シップが考えられます。早く治したい場合は、併用はしない方がいいでしょう。どうしてもやる場合は、弱い刺激でやってもらってください。

【質問 21】 43歳女性

主訴：右背部痛

現症：本日午前中より発症。すぐ近くの方ですが車で来院。右背部がぴくぴく痙攣するような感じで息を吸うだけでも痛い。半年前にもこのような症状を発症し、その時は、整形外科の痛み止めの座薬で治まった。

所見：脈状： 緊・やや数

火穴： 右天牖（やや+）、左勞宮（やや+）

腹診： 左天枢（硬い）、右中注（やや+）、左中注（+）、右季肋部（圧迫感）

局所診：右胸鎖乳突筋（+）、右肩井（+）、胃の気（+）

※ 腹診時、本人曰く「飲み過ぎかなあ…」とぼつり。二日前かなり大酒を飲んだらしい。

処置：SU 尺・左中封・右陰陵泉、胃の気処置、左筋緊張緩和処置、肝実5点（補鍼+温灸）

初めての鍼だったので接触鍼（1寸1番）程度の刺激でこれらの施術後座位になってもらった、しかし姿勢移動の際に「うっ」と痛がる。やっと背臥位となり、圧痛点を調べてみると肝俞を中心に下は腎俞～膈俞付近にかけて盛り上がり圧痛がある。圧痛強度の部分で切皮瀉を行い終了しました。

質問：なんだか来た時よりも状態が悪くなったような様子でしたが、明日もう一度来院予定です。

やはり、ぎっくり腰のように発症してすぐの施術は控えた方がよかったですでしょうか？

こういった症例の場合、どのような対処をすればよかったですでしょうか？

【返答 21】 基本はやはり「肝実」ですね、左天枢（硬い）を（柔らかくなる）になるまで、もしくは、緩んでくるまで、肝実5点に留鍼しながら丁寧に雀啄、雀啄、左天枢確認、緩んでなければまた雀啄。

もう一つが「瘀血処置」です、これもじっくり丁寧に雀啄してください。

それと、痛み強い時は、局所の処置は極力避けるほうがいいでしょう。

帯脈もいい場合もあります。お酒も控えてもらいましょう。

【質問 22】 75 歳女性

主訴： 頻尿で相当苦しんでおります

既往歴： 高血圧、後縦靭帯骨化症にて手術をうけております

所見： 「脈状」細、遅「火穴」反応なし「胸鎖乳突筋」緊張有「腹診」下腹部がぶよぶよ感

質問： 鍼灸にて、頻尿の程度を軽くするには、どのような穴を選んで施術すべきでしょうか？

【返答 22】 まず、脈状と腹診により、「腎虚」です。つまり、「副腎処置」と「下垂処置」（遅脈時の京門、大腸兪、生辺）このうち副腎処置が重要です。また、失禁があるということは、「肝虚」もあるでしょう、「第9胸椎の右際周辺の圧痛強い所」と「腰兪」に刺鍼と施灸。子供の夜尿症にも効きます。

【経過 22】 腎虚ということで、副腎処置、下垂処置、帯脉で対処しました。経過としては、副腎処置は少し効果がかんじられます。他に高血圧の患者さんでも副腎処置は効果があるようにおもいます。基本処置を重視し、対症療法のみにとらわれないよう、がんばってみます。